

土 木 委 員 会 委 員 協 議 会 記 録

1 会議の日時	令和 5年 1月20日	開 会 午前 10時 01分 閉 会 午前 10時 55分
2 会議の場所	第5委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 布俣 正也 副委員長 安井 忠 尾藤 義昭 平岩 正光 松岡 正人 高木 貴行 森 治久
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐兼係長 榎田 朝之 主事 熊澤 彩乃	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	浸水被害軽減に向けた河川改修の進め方について	
2	水辺空間を活用した地域活性化の取組について	
3	被災した公共土木施設の早期復旧に向けた取組について	
4	その他	

6 議事録(要点筆記)

○布俣正也委員長

ただいまから、土木委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため開催したものであり、議題は、配布した資料のとおりである。

執行部職員については、今回の議題を所管する所属を中心に出席していることをあらかじめ了承願う。

ではまず、「浸水被害軽減に向けた河川改修の進め方について」を議題とし、執行部の説明を求める。

(執行部挨拶：大野県土整備部長)

(執行部説明：岩井河川課長)

○布俣正也委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○松岡正人委員

河川整備には時間を要するため、各務原市では、洪水時に一時的に雨水を貯留する施設整備を計画している。こうした整備に対して、補助金を含めた県の役割について、どのように考えているか。

○岩井河川課長

流域治水の支援策は、国のホームページで公表しており、関係省庁、国土交通省の各部局を含めて様々な対策に取り組んでいる。国の補助制度を県各部局や市町村が連携しながら活用し、浸水対策に取り組んでいく。

○松岡正人委員

要望だが、市町村と意見交換しながら、使える補助金の指導もお願いしたい。

○森治久委員

3号地(洪水時に水が流れる川の中の土地)に建物が建っている場合があるが、リスクが低い地域への移転に対する補助制度はあるか。

○岩井河川課長

災害危険区域に指定された場合は、補助が可能となる場合もある。

○布俣正也委員長

河道掘削は、環境面への配慮、残土処理も適切に実施していく必要がある。治水対策の方法の優先順位はどのように考えているか。

○岩井河川課長

まずは、川幅を広げる拡幅が望ましいとされている。これは、将来予想される洪水流量が増えた場合でも、掘削で対応する余地があるためである。一方で、中小河川において、土地利用の制約から拡幅ができない場合は、河道掘削で対応していくことになる。

○布俣正也委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、議題1の「浸水被害軽減に向けた河川改修の進め方について」を終わる。

次に、「水辺空間を活用した地域活性化の取組について」を議題とし、執行部の説明を求める。

(執行部説明：岩井河川課長)

○布俣正也委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○松岡正人委員

住民が「かわまちづくり」を推進するにあたり、県が住民と国との連携を積極的にバックアップしてほしい。

○岩井河川課長

住民からの要望を土木事務所等で丁寧に聞き、市町村とも連携しながら対応させていただく。

○松岡正人委員

要望だが、木曾川のかわまちづくり協議会は国主体であり、県と市町が各々で対応しているように感じる。地域からの提案等を情報交換できる機会を増やししながら河川の利用価値を高めていくことなどを検討し、魅力発信につなげていただきたい。

○布俣正也委員長

昨年視察した信濃川のみずべリングは、浸水被害を軽減しながら水辺空間を活用しており、すばらしかった。このような河川改修を進めていく箇所はあるか。

○岩井河川課長

みずべリングを行う予定である中津川市の付知川では、県で樹木伐採・河道掘削を実施し、治水安全度を向上させながら水辺の魅力向上に繋げていきたい。

○平岩正光委員

付知川では、川を活用したまちづくり、まちおこしの機運が大変盛り上がっている。リニアに関連して下呂市と連携する等、水辺空間の活用について、いきいきと話し合いがなされ、私も期待している。また、樹木伐採により治水安全度も向上された。こうした取組を県内に広げていただきたい。

○尾藤義昭委員

委員会で視察した富山県では、まちの中にある川が公園として捉えられ、大勢の人が散歩、ジョギングをする等、水辺空間が利用されていた。こうした生活に癒しを与えるような場が岐阜県にはないと思う。ただ樹木を伐採するだけでなく、公園を整備して大勢の方が訪れる場所にしていくべきである。しっかりと計画を立て、取り組んでもらいたい。

○岩井河川課長

県内には様々な魅力があるので、地元と連携しながら、その魅力を生かせるような河川空間づくりに取り組んでいきたい。

○藤井土木技監

昨年視察した富山湾の運河では歩道や公園が整備される等、地域に潤いがあった。岐阜県においても、高山市の宮川朝市ではみずべリング制度ができる以前より、市と県が河川空間を整備し、地元の方々が朝市というソフト対策で地域を盛り上げている。こうした取組を県全体に広げていけるとよいと考えている。

○布俣正也委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、議題2の「水辺空間を活用した地域活性化の取組について」を終わる。

最後に、「被災した公共土木施設の早期復旧に向けた取組について」を議題とし、執行部の説明を求める。

(執行部説明：辻砂防課長)

○布俣正也委員長

ただいまの説明に対して、質疑はないか。

○高木貴行委員

災害復旧事業の財政措置はどうなっているのか。

○辻砂防課長

国費は3分の2、県費は3分の1となり、県費には起債の充当もある。

○平岩正光委員

令和3年度の災害では、迅速な対応で復旧に向かって取り組んでいただいた。付知の東股谷では、コンクリートの2次製品を使用することで、出水期を避けて復旧工事を実施いただけた。こうした取組や県のOBで構成される災害復旧支援隊による災害復旧の支援は、今後も継続してほしい。なお、隊員は何人で、どのように要請するのか。

○辻砂防課長

現在、40名の隊員がいる。災害の規模に応じ、土木事務所、市町村からの要請により対応している。令和3年8月の大雨では3班6名の体制で活動した。

○安井忠副委員長

長良川では、岐阜市内は雑木等がなく大変きれいである。瑞穂市、大垣市、安八町では雑木が多い。輪之内町、海津市では、木曾三川公園周辺はしっかり整備がされている。同じ長良川流域であっても整備に違いがあるため、平等に整備していただくよう国に要望いただきたい。

○布俣正也委員長

災害時応急対策用資機材備蓄拠点はバランスよく配備されていると感じるものの、高山市の拠点から飛騨地域の最北端には2時間程度、サテライト拠点からでも1時間半程度かかる。白川村には拠点がなく、有事の際は困ると思う。サテライト拠点を全市町村に整備するくらいの気持ちで整備してほしい。今後の計画はどうなっているか。

○辻砂防課長

既存の備蓄拠点から到達に1時間以上要する地域にサテライト拠点を整備する方針としており、今後も引き続きサテライト拠点整備の検討を進める。

○布俣正也委員長

到達に1時間とは、災害が起こっていない場合に車で走行するのにかかる時間ということか。

○辻砂防課長

そのとおり。なお、上宝サテライト拠点の整備にあたっては、令和2年の災害時に国道が寸断され、孤立したことも踏まえて検討した。

○布俣正也委員長

白川村、中津川市の東部地域、揖斐川の西部地域は空白地と思われるため、今後、優先的に整備を検討いただきたい。

質疑も尽きたようなので、これをもって、議題3の「被災した公共土木施設の早期復旧に向けた取組について」を終わる。

以上で、本日の議題は全て終了したが、この際、何か意見等はないか。また、執行部の方、何かないか。

(発言する者なし)

○布俣正也委員長

では私から1点。昨年末の寒波では、除雪対策が万全だった。迅速に除雪を行っていただいた地元の土木業者に感謝を申し上げる。また今夜から大寒波が来るということで、岐阜県全域において除雪対策の万全な体制を徹底いただくよう要望する。

では、意見もないようなので、これをもって本日の委員協議会を終了する。

土木委員会委員協議会 配席図

令和5年1月20日
議会議棟4階 第5委員会室

